

福岡医発第258号(地)

平成17年 5月 2日

各 医 師 会 長 殿



福 岡 県 医 師 会
会 長 竹 嶋 康 弘



「震災フォーラム」の開催について

福岡市医師会より標記フォーラムを開催される旨、別紙のとおりご案内がありましたので、多数の方々にご参加いただきますよう会員各位へ周知方よろしく願いいたします。

小郡三井医師会より

担当理事 島田昇二郎



福市医発第 77 号
平成 17 年 4 月 21 日

福岡県医師会
会長 竹嶋 康弘 殿

福岡市医師会
会長 樋口 正



「震災フォーラム」の開催について（ご案内）

陽春の候、貴殿ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、本会の会務遂行にあたりましては多大のご高配とご指導を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、本会では「市民との医療情報共有化と信頼確保の推進」を本会事業計画のひとつとして、以前より開かれた医師会を目指し、市民に向けて様々な広報・活動を展開してまいりました。

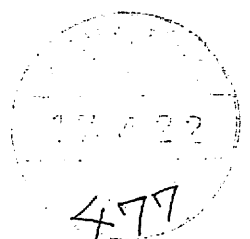
また、本年は阪神大震災発生より10年を迎え、昨年10月の新潟県中越地震、12月のスマトラ沖大地震、そして今回の福岡県西方沖地震の発生と、災害に対して関係者がともに考え、危機管理体制を整備しながら市民に対し啓発するに時機を得ているのではないかと考え、この度標記フォーラムを別紙のとおり開催致します。

第1部「災害と子どもの心のケア」では、現在も余震が発生している中、子どもに与える影響やストレスについて、学校及び医療関係者がなすべき対応等を考えるため、学校関係者及び保護者への参加も呼びかけ、講演会を開催致します。

第2部「ITを活用した防災対策」では、「なぜ電話は繋がらなかったのか」をテーマに防災対策講演会を開催し、この度の地震の反省と課題について通信会社の立場に立ってお話頂く予定です。又、展示ブースでは本会独自の「モバイルー斉連絡システム」をご紹介します。併せて、未だメールをご利用出来ない方へ携帯教室を同時開催致します。

第3部「災害・医療フォーラム福岡」では、阪神・淡路大震災の被災者であり、その後の神戸の復興を医療面で支えてこられた神戸市医師会長 川島 龍一 氏、現在も震災後の当市で、復興支援の為に活躍されている都市災害管理学専攻の福岡大学工学部教授 多賀 直恒 氏の基調講演を行い、講演後のパネルディスカッションにおいては、福岡市長山崎広太郎氏、本会の災害担当理事、そして川島氏、多賀氏を加えて行い、市民公開講座として幅広く市民の方々に参加頂き、市民とともに災害並びに医療を考えるフォーラムにしたいと考えております。

つきましては、標記フォーラムの開催にあたり、別紙のとおりご案内申し上げますので、貴会役員等関係者のご参加並びに県内郡市医師会等への広報等、ご高配賜りますようお願い申し上げます。



震災フォーラム

福岡市医師会では、去る3月20日に発生しました福岡県西方沖地震の震災を教訓として、次のとおり震災フォーラムを開催します。

参加希望の方は、福岡市医師会医務課（TEL 092-852-1504）までお申し込み下さい。

第1部：「災害と子どもの心のケア」

日時 4月26日(火) 19時00分
場所 福岡市医師会館8階講堂 (TEL092-852-1500)
テーマ 「災害と子どもの心のケア」
講師 福岡市子ども総合相談センター所長 藤林 武史 先生
九州大学病院精神科講師 吉田 敬子 先生

第2部：「ITを活用した防災対策」

日時 5月14日(土) 15時00分
会場 タカラホテル福岡 (TEL092-731-1661)
内容 展示ブース (15:00～17:00)
○モバイルー斉連絡システム (会員向け「ケータイ教室」同時開催)
○日医標準レセプトソフト (ORCA)
○福岡市医師会ネットワークシステム (Se fu)
防災対策講演会 (17:00～18:00)
「なぜ電話は繋がらなかったのか！ー福岡県西方沖地震ー」
NTTドコモアイ九州(株) ビジネス営業部長 長崎 忠巳 氏

第3部：市民公開講座「災害・医療フォーラム福岡」 ～ 地域の備えを考える ～

日 時 7月30日(土) 16時00分
会 場 メルパルクホール (TEL092-523-1100)
内 容 基調講演
1) 「阪神淡路大震災からの検証
ー10年を経ての災害医療についてー」(仮題)
日本医師会理事・神戸市医師会会長 川島 龍一 先生
2) (演題未定)
福岡大学工学部教授 多賀 直恒 先生
パネルディスカッション
(パネリスト)
○福岡市長 山崎広太郎 氏
○神戸市医師会長 川島 龍一 氏
○福岡大学工学部教授 多賀 直恒 氏
○福岡市こども未来局長 荒瀬 泰子 氏
○福岡市医師会理事 大木 實 氏
後 援 福岡市、西日本新聞社